

ヨコハマ市民まち普請事業

第2次整備提案書

※ 記入上の注意

- 2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。
- 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

1 整備提案の概要について

整備提案名	カサコ - 丘の街の地域の軒下/世界の軒下 -
提案グループ名	カサコプロジェクト実行委員
整備場所の所在地 (町名又は丁目まで記入)	西区東ヶ丘23-1
施設整備の概要	「カサコプロジェクト - 丘の街の地域の軒下/世界の軒下-」は、横浜市西区東ヶ丘の坂の上にある2階建ての長屋を改修し、地域の子供の寺子屋/放課後の居場所/世界からの旅人の集いの場/地域の身近なイベントスペースとして使用できる「多世代、多国籍の交流スペース」として整備していくプロジェクトです。築60年の木造家屋を補修しつつ、既存の価値を再発見していく「リノベーション」という手法で改修を行います。1階がワークショップやイベントを行うためのサロンと厨房と水回り、2階が旅人の休憩場所並びにNPO法人 Connection of the Children (以下CoC) のメンバーの事務居住スペースとなります。
整備助成金申請 予定額	500万円
設計及び整備の スケジュール	■設計期間：2015年2月- 5月 ■施工期間：2015年6月- 8月

2 創意工夫について

計画について、特に工夫した点を記入してください。 (住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮)	<p>1. ローカルとグローバルの共存 地域のコミュニティの外から来る人々と交流を持つことで、他の地域がもつ良さを知り、自分たちの地域を意識し、魅力や特徴を再発見することのできる環境づくりを目指しています。</p> <p>2. 地域の軒下・世界の軒下 カサコは、「急坂」と呼ばれる地域の主要な動線のほど近くに位置しています。建物の外壁を一部撤去し、気軽に立寄ることのできる軒下空間を設けることで、外部と連続した一体的な利用を促します。また、安全を見守る地域の番頭さんとして、駆け込み寺のような役割を担います。</p>
整備における地域での費用や労力の負担について、特に工夫した点を記入してください。 ※ 詳細については、「想定整備費用内訳書（第3号様式）」に記入してください。	<p>1. 地域の方々と共同で制作を行います 軒下部分の舗装工事や、外壁塗装などの工程を、町の職人さんに専門的なアドバイスを頂きつつ、地域の方々に協力してもらいながら共同で制作を進めていくことを計画しています。地域の方々に主体的に設備の整備に関わってもらうことで、自分たちの居場所として認知していただき、また、創造をきっかけとした交流を促すことが目的です。</p> <p>2. 「西区地域のつながりを育み強める補助金」を頂いています 地域コミュニティにおける活力促進、地域課題の解決に対する補助金です。カサコでは、東ヶ丘町内会と連携し、補助金(16万円)を頂いています。町内会との関係づくり、地域に根ざした継続的なイベント、コンテンツづくりのためのソフト整備のために使用しています。</p>
整備した施設の維持管理・運営 ^{注5)} 計画及びその実施方法などについて、特に工夫した	<p>地域×子ども×旅人。日替わりで様々な人が主役となれる運営計画を立てております。</p> <p>1. トレジャーハンティング【子ども×地域】 現在実施している地域の特技を持つ方を招いたワークショップ「トレジャーハンティング」の延長として、毎週、地域住民の特技や技術を共有するワークを実施します。</p> <p>2. 放課後留学【子ども×旅人】 東ヶ丘から子ども会がなくなって久しく、地域の方々から子ども会の復活が強く望まれ</p>

<p>点を記入してください。 注5) 施設を活用したまちづくりイベント等を含む。</p>	<p>ています。放課後の居場所としてカサコが機能しつつ、そこで旅人と触れ合ったり地域の良さを発見したりすることで、徐々に子どものコミュニティを構築していきます。</p> <p>3. 軒下留学【地域×旅人】 カサコに遊びに来るゲストと大人が交流しながら、時には食卓を囲みながら、様々な世界と毎回触れ合います。</p> <p>4. ワールドモーニング【子ども×地域×旅人】 カサコに来る旅人と世界の朝ご飯をつくり、出勤前に、登校前に、カサコと一緒に食べます。旅の目的の1つである食事を通して、それぞれの文化の相互理解を目指しています。</p> <p>※ 事業計画（人員・資金）の詳細は別途資料。 ※ ゆくゆくは地域の方が日直制でカサコに駐在できる仕組みを作りたいと考えています。</p>
--	---

3 実現性について

<p>地域（地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等）での合意形成や関係機関との調整結果の概要について記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 建物所有者 日々プロジェクトについて相談し、活動の了承を得るとともに、ハード改築の際は、協力するとの言葉をいただいています。 2. 町内会 毎月の会議に出席し、進捗を報告するとともに、回覧板でカサコの近況を共有しています。また、町内会主催のイベントには必ず参加し、関係は良好かつ、活動を応援いただいています。 3. 地域住民・近隣住民 横浜西区運動会に参加をし、東ヶ丘地区は15年ぶり2回目の優勝をしました。カサコメンバーが勝利に貢献したことで、地域の方々に認知して頂くことができ、それ以来地域の方たちと挨拶をかわすようになりました。また、近隣住民に関しては、1軒1軒訪問し、直接プロジェクトの説明と相談をさせていただきました。多くの方々が「応援する」と言ってくださり、通りすがりにお声がけくださったり、カサコプロジェクトで発行している「東ヶ丘新聞」を楽しみにして下さっていたりするなど、良好な関係を築けています。 4. 子ども 近隣の東小学校放課後教室(浜っ子スクール)に講師として参加し、授業をさせていただいたことで、東ヶ丘小学校に通う子どもたちとの関係が築けました。登下校の途中で立ち寄りたり、休日に遊びに来たり、ワークショップ(トレジャーハンティング)への参加を通じて、カサコへの興味は日に日に高まっています。 5. 旅人 NPO法人コネクションオブザチルドレンの活動の中で知り合う数多くの世界中の関係者の方、加藤が旅中に会った友人、横浜国大の留学生などを日々カサコに招き、ワークショップや、地域の方々との交流を実施しています。
--	--

4 公共性について

<p>地域のどのような課題やニーズに基づいて整備計画が作成されたのか、また整備した施設が地域にどのくらい貢献するか記入してください。 ※ 第1次整備提案書よりも具体的に記入してください。</p>	<p>カサコのある東ヶ丘が抱える課題・ニーズ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 多世代が居合わせる環境がないこと 東ヶ丘にはカフェや公民館等の、多世代が居合わせることのできる場所がありません。小学生が放課後に時間を過ごせる場所がないことや、子育て世代のお母さんたちが子どもと引きこもっていたり、坂の上には買い物難民になってしまったお年寄りが多くいたりなど、世代間でそれぞれに異なる問題やニッチな時間を抱えています。そういった現実を共有・相談することのできる、多世代が居合わせるフラットな場所づくりを目指しています。 2. もともと多国籍な状況であるが、地域の理解が乏しい現状 カサコから歩いて3分ほどの場所にある東ヶ丘小学校は、15カ国もの国籍の子どもたちが通学しているグローバル校です。しかし、地域住民のなかには「外国人が外を歩いていることが不気味である」と言う方がいるなど、すでに多国籍な状況がある一方で、地域の理解が浸透していない現状があります。 3. こども会の消滅 東ヶ丘地区のこども会は、「こどもの減少と、地形が厳しいなか、坂をおりて定期会合に毎回出席することが困難である」という理由から、約20年前に消滅してしまいました。こども会の復活は、東ヶ丘町内の目標であり、現在も地域住民から望まれています。 <p>提案内容</p>
---	---

	<p>カサコの前面の道は、地域の動脈である「急坂」に面し、朝昼晩、子どもからお年寄りまで多くの人々が行き交う主要な動線です。また、この道は緩く湾曲しており、カサコはその延長線上に位置するため、外の様子を遠くまで眺めることができる好立地にあります。この見晴らしのよい場所に、町の安全を見守る番頭さんの役割を担った「世界の軒下・地域の軒下」として整備提案を行います。</p> <p>街路に面して大きな軒下空間をもうけ、レクチャーや会議、時には街路に面して演奏会や上映会を行うこともできるオープンスペースを作ります。また、世界中のレシピと知恵があつまる、オープンなキッチンと作業台スペースを用意し、食を介した交流を促します。ここは、子育て世代の情報交換の拠点として/ゲートボール後のお年寄りのお茶飲み集合場所として/「こども会復活プロジェクト」の本部としての活用など、多世代が抱える目的や問題を受け止めるハブとして、同じ空間と時間を過ごすことのできる環境づくりを目指しています。また「世界の軒下・地域の軒下」は、地域住民のみならず、世界各国から旅人たちが集まり、世界中の多種多様な価値観を学び合う寺子屋でもあります。教育を専門とした整備提案者(加藤・堀口)が、通訳を行いながら、地域住民と旅人との交流をサポートします。子どもたち、地域住民、旅人達がそれぞれに自分の町の魅力を伝え合い、価値観を交換し合う場所として機能することを目指しています。</p>
--	--

5 費用対効果について

<p>整備コスト縮減について、特に工夫した点を記入してください。</p> <p>(材料の調達方法や施工業者への発注方法など)</p> <p>※ 整備に要する費用や労力の負担については、「2 創意工夫について」に記入してください。</p>	<p>1. 空家を再利用します</p> <p>カサコのある東ヶ丘地区は、地形の厳しい丘に広がる住宅地です。住み手が不在の家屋が多くあり、かつ高齢化しているという問題を抱えていて、今後さらに地域が空洞化していくことが危惧されています。本計画では、築67年の木造建物を改修し、魅力的な空間づくりを行うこと、また地域の活動拠点として整備を行うことで、既存ストックの利用と、魅力を発信する場所・事づくりを通じて、新しい住民を迎え入れるきっかけをつくることを目指しています。また、当物件にはすでに加藤と堀口が住んでおり、建物所有者からの理解を得ています。</p> <p>2. まちの廃材をリユースします</p> <p>2015年2月頃、横浜市中心図書館前の舗装工事が行われる予定です。その際不要となる御影石(ピンコロ石)を譲り受け、カサコの軒下空間の床に敷き詰めることを予定しています。町の方々に慣れ親しんだ素材を再利用することで、材料費の減額のみならず、場所に愛着を持っていただくことを目指しています。</p>
--	---

6 地域まちづくりへの発展性について

<p>整備をきっかけとして、地域コミュニティが広がる又は深まる可能性、及び地域のまちづくり活動が活発化する可能性について記入してください。</p>	<p>「カサコプロジェクト - 丘の街の地域の軒下/世界の軒下-」は、丘の町の中腹にある1軒の木造長屋を改修し、子ども、地域、旅人をつなげて、多世代・多国籍な方々が居合わせる状況を提案するものです。語学や文化、特技等、それぞれの登場人物が各々に持ち合わせた状況や情報を共有することで、世界中のあらゆる価値観や文化、技術が集まる場所づくりを目指しています。</p> <p>また、地域活動を支える場所として機能し、消滅してしまった子ども会の復活、東ヶ丘小学校放課後教室との連携による放課後の時間を過ごす場所、ほのぼの会(老人会)や町内会とのコンタクトを通じて、これまでそれぞれに孤立してしまっていた地域活動のハブとして機能し、各地域活動の連携を促します。</p> <p>地域の安全を見守る、まちの駆け込み寺となるだけでなく、地域外から来る人々と交流を持ち、他地域のことを知ることで、自分たちの地域を意識し、魅力や特徴を紹介・発見することのできる環境づくりを目指しています。</p>
---	--

7 特にPRしたい点について

<p>提案について特にPRしたい点があれば、記入してください。</p>	<p>まちづくりに必要な三者、</p> <p>① (旧習に捉われない) 若者</p> <p>② (夢中になれる) ばか者</p> <p>③ (客観的視点の) よそ者</p> <p>更には、「旅人」を含める新しいまちづくりの視点が、カサコプロジェクトには存在している点です。</p>
-------------------------------------	--

記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

記載内容は真実であり、虚偽はありません。

記載内容に個人情報含まれていません。

ヨコハマ市民まち普請事業

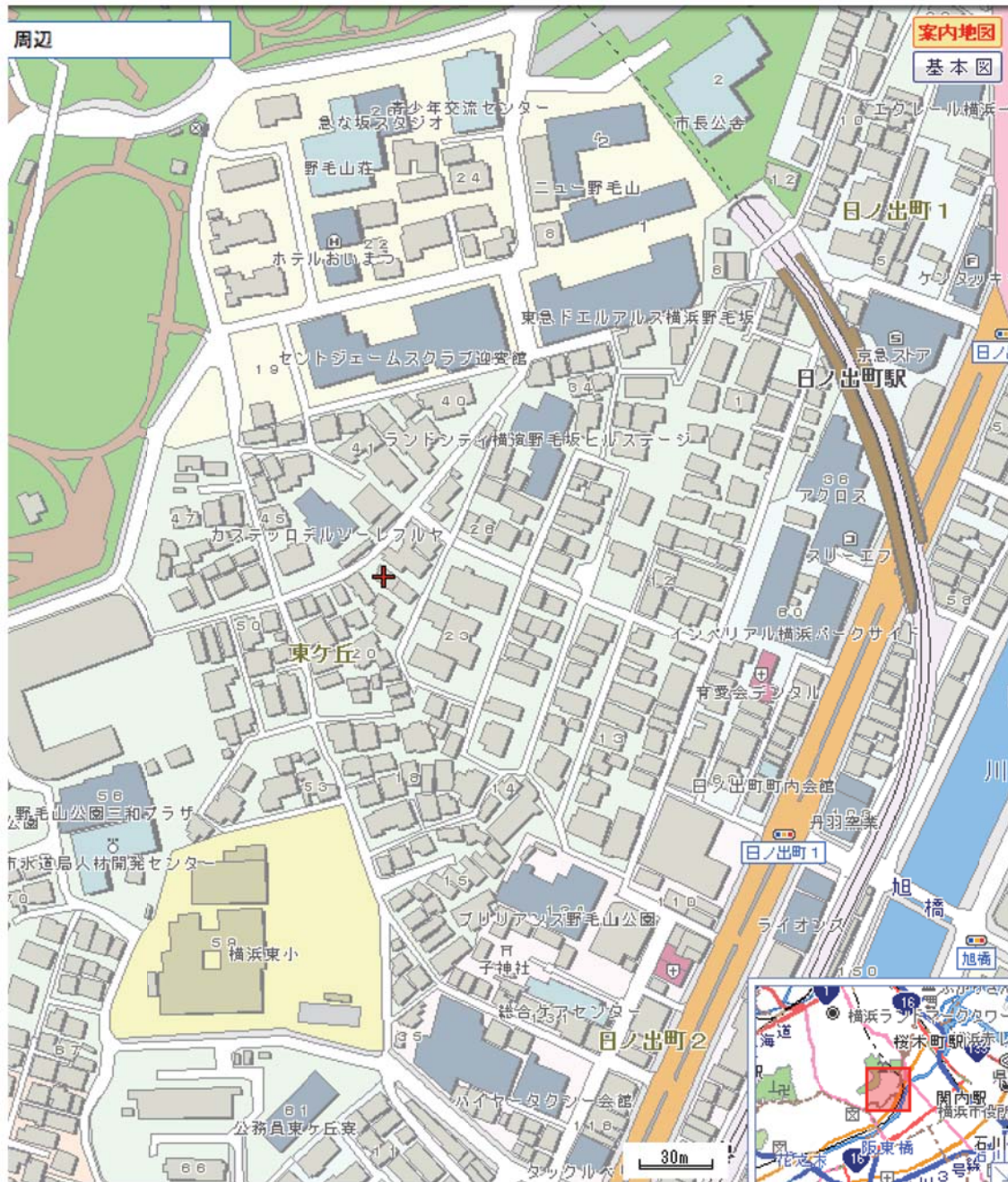
想定整備費用内訳書

※ 記入上の注意

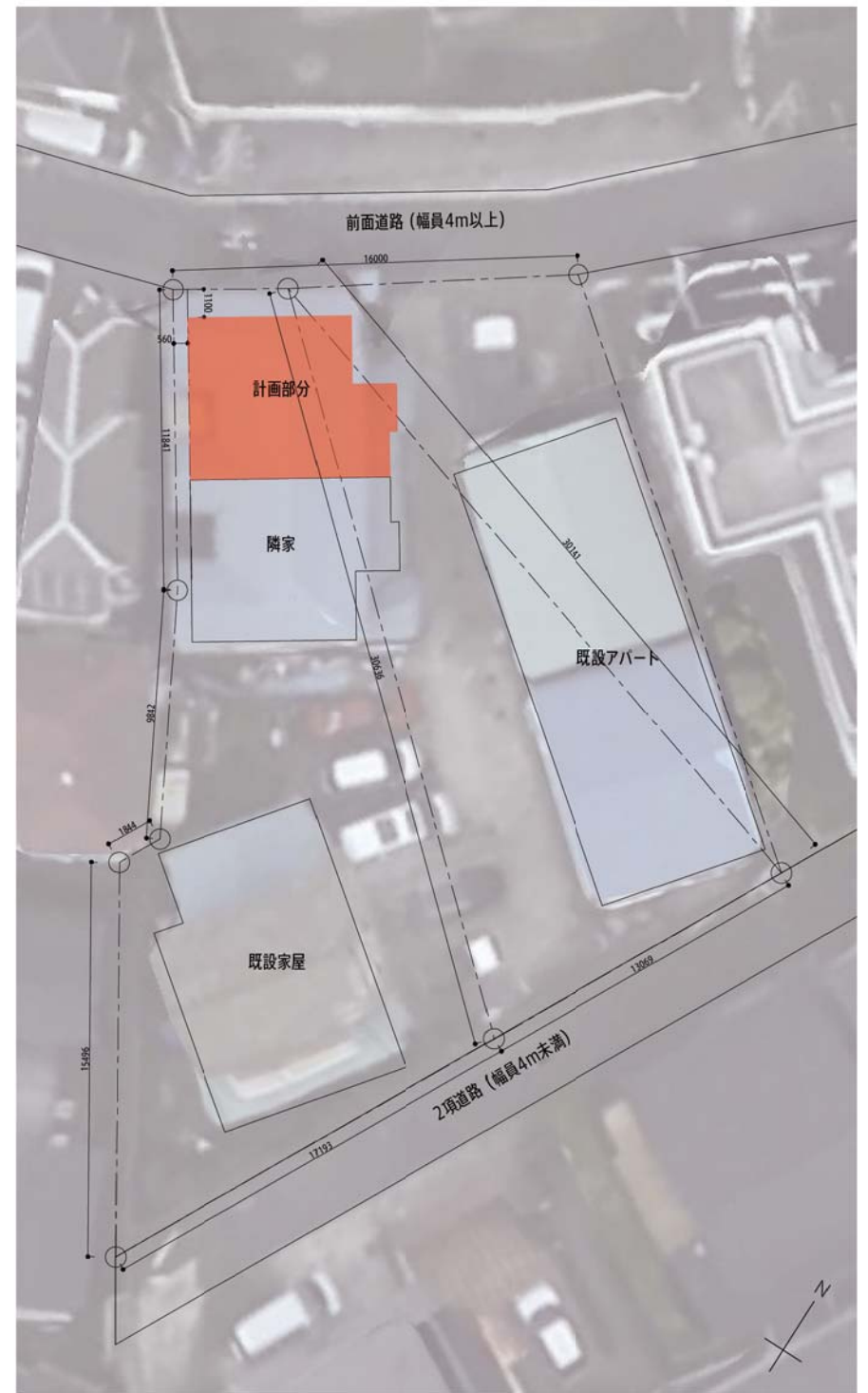
- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細目	数量	単価	計	地域住民等の参加 (費用又は労力の負担等)
解体工事	解体工事費 産廃処理費	1式	¥200,000	¥200,000 ※1	関係者による一部自主工事 (3人×3日)
鉄骨工事	鉄骨制作費、設 営工事費、フレ ーム製作設営工 事費	1式	¥1,400,00 0	¥1,400,000 ※2	
外構工事	ピンコロ石設営 工事	1式	¥120,000	¥120,000 ※3	地域住民による自主工事 (親子連れ、旅人等)
床工事	(板の間、キッ チン、廊下等) シナベニヤ+オ イル塗装	24㎡	¥12,000	¥288,000 ※4	塗装：ワークショップ形式 (10人×1日)
壁工事	耐力壁新設	9㎡	¥9,000	¥81,000※5	
建具工事	サロン建具製作 設置費、縁側サ ッシ新設	1式	¥660,000	¥660,000 ※6	
給排水・設備工 事	給湯器、キッ チン、洗面台、シ ャワーユニット、給湯給排水 工事、ガス工事	1式	¥670,000	¥670,000 ※7	
電気設備工事	配線整理、照明 等	1式	¥200,000	¥200,000※8	
外壁補修工事	足場仮設工事、 外壁周り修繕工 事、外壁塗装工 事	1式	¥750,000	¥750,000 ※9	塗装ワークショップ(10人 ×2日)、大家負担(予定)
設計料	工事費(※1~ 9)の12%	12%	¥4,369,000	¥524,280	
現場管理費		23日	¥20,000	¥460,000	
諸経費		23日	¥3,000	¥69,000	
小計				¥5,422,280	
消費税				¥433,783	
合 計				¥5,856,063	

2-1 位置図



位置図 縮尺:1/2000



配置図 縮尺:1/200

2-2 平面図

- 外構**
 - 外壁：塗装
 - サロン：道路側の壁撤去 + 檜新設 + サッシ新設 + ピンコロ石

地域に開いた場所にするため、建物の外壁を一部解体し、道から連続した軒下空間（サロン）を用意します。
- 内装**
 - 床：張替え
 - 壁：補修 + 吸音性能 + 一部塗装

床や壁等の痛んでいる部分を補修し、安全に活用するための対策を行い、ワークショップで塗装を行います。
- 構造**
 - サロン：檜 + 鉄骨での構造補強
 - 構造補強壁：x方向 ×3枚、y方向 ×1枚設置

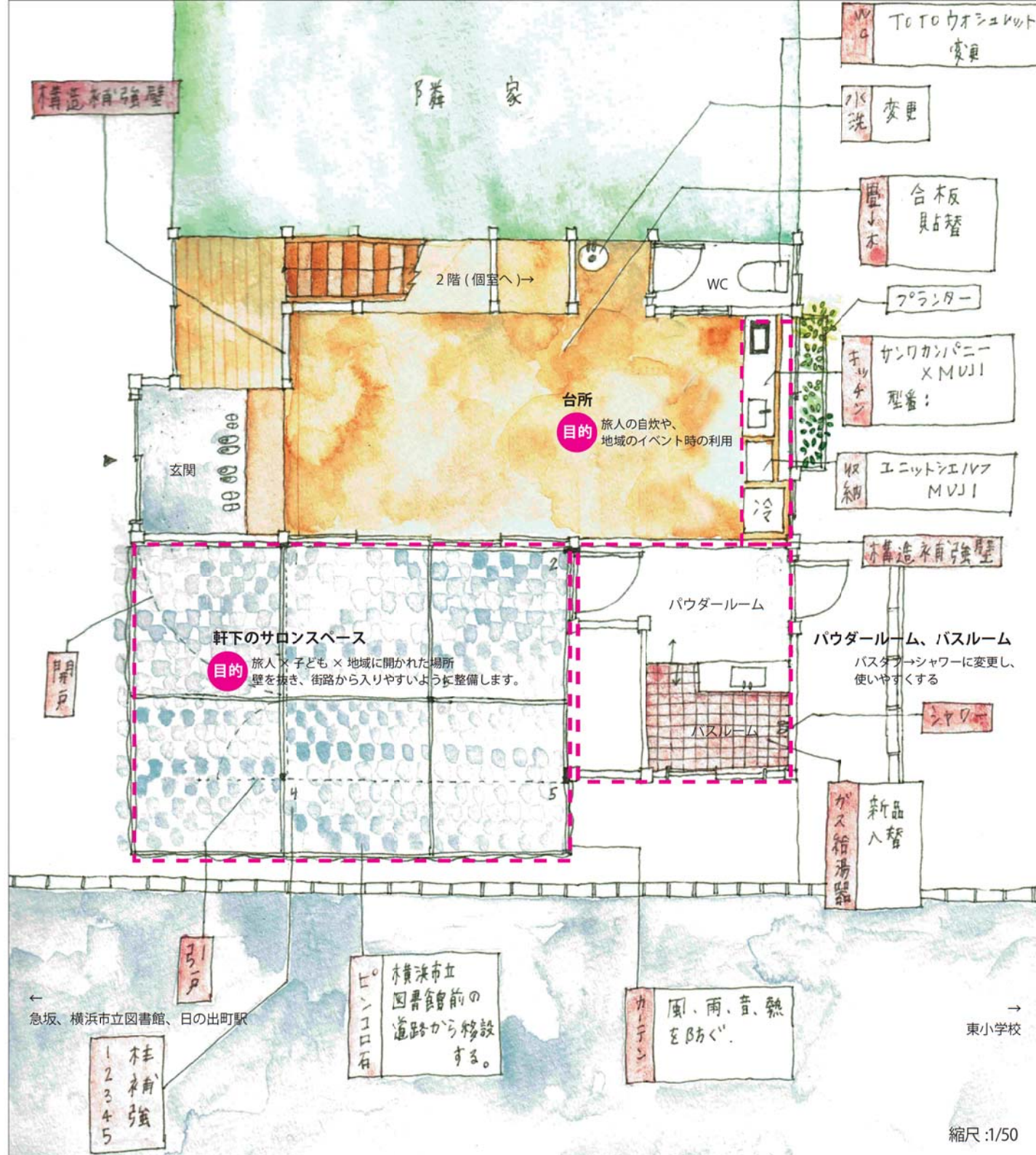
構造の専門家と相談し、必要に応じて構造補強壁を設置・鉄骨での骨組み補強等の構造補強を行います。
- 電気
給排水**
 - 各室・外構：整理、増設

工事に伴い、各室・外構の電気設備の配線を整理し、増設を行います。
- 建具**
 - サロン：鉄製のサッシ新設
 - 室内：既存の襖を補修 + 家具に転用 + ゲストルームに鍵設置

サロンでは既存の建具を撤去し掃き出し窓を設け、室内は既存建具を補修し活用します。
- 家具**
 - 建具転用：建具を補修し、家具に転用

建具を補修し、テーブルや黒板などのアメニティとして活用するワークショップを行います。
- 水回り**
 - 台所：キッチン新設 + 給排水移設
 - バスルーム：バスタブ撤去 + シャワー新設 + 水洗新設

イベント時の使用に伴い、備え付けの厨房設備とバスルームを整備します。



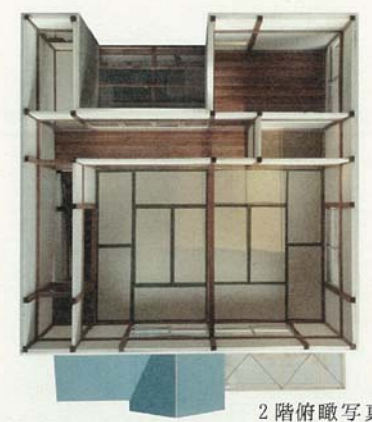
2-3 完成予想図



外観模型写真



1階俯瞰写真



2階俯瞰写真

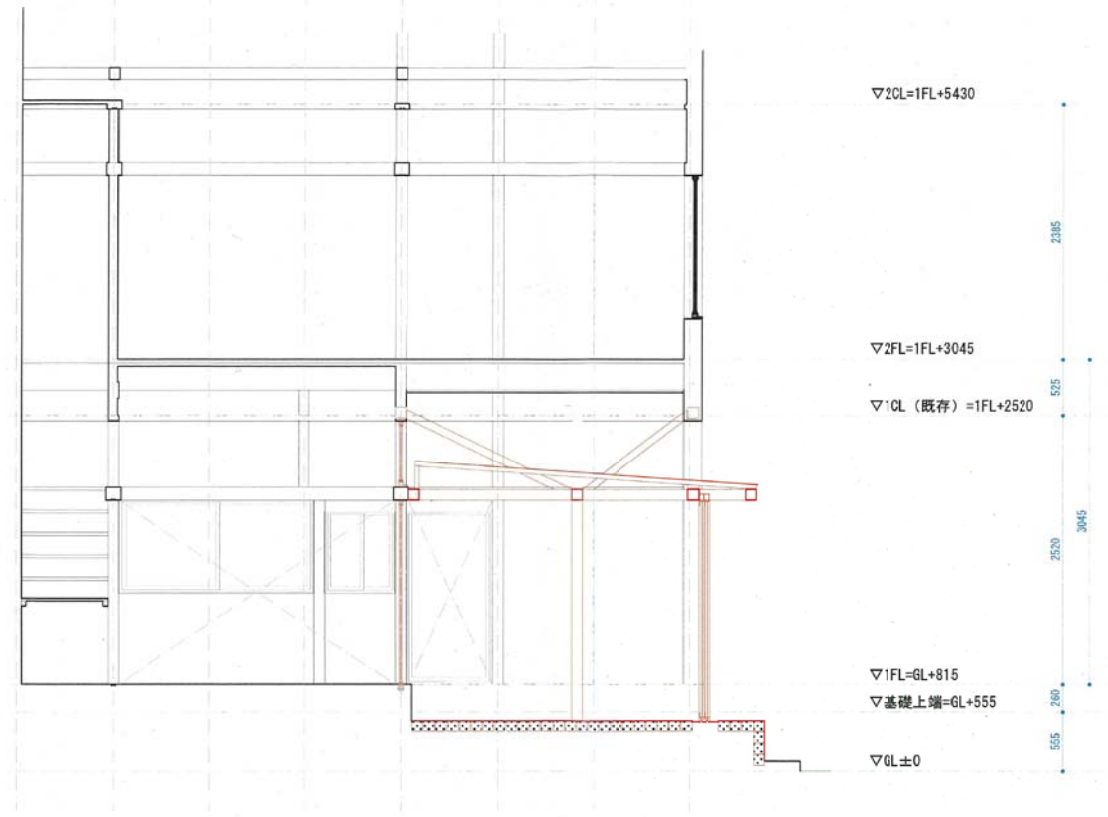
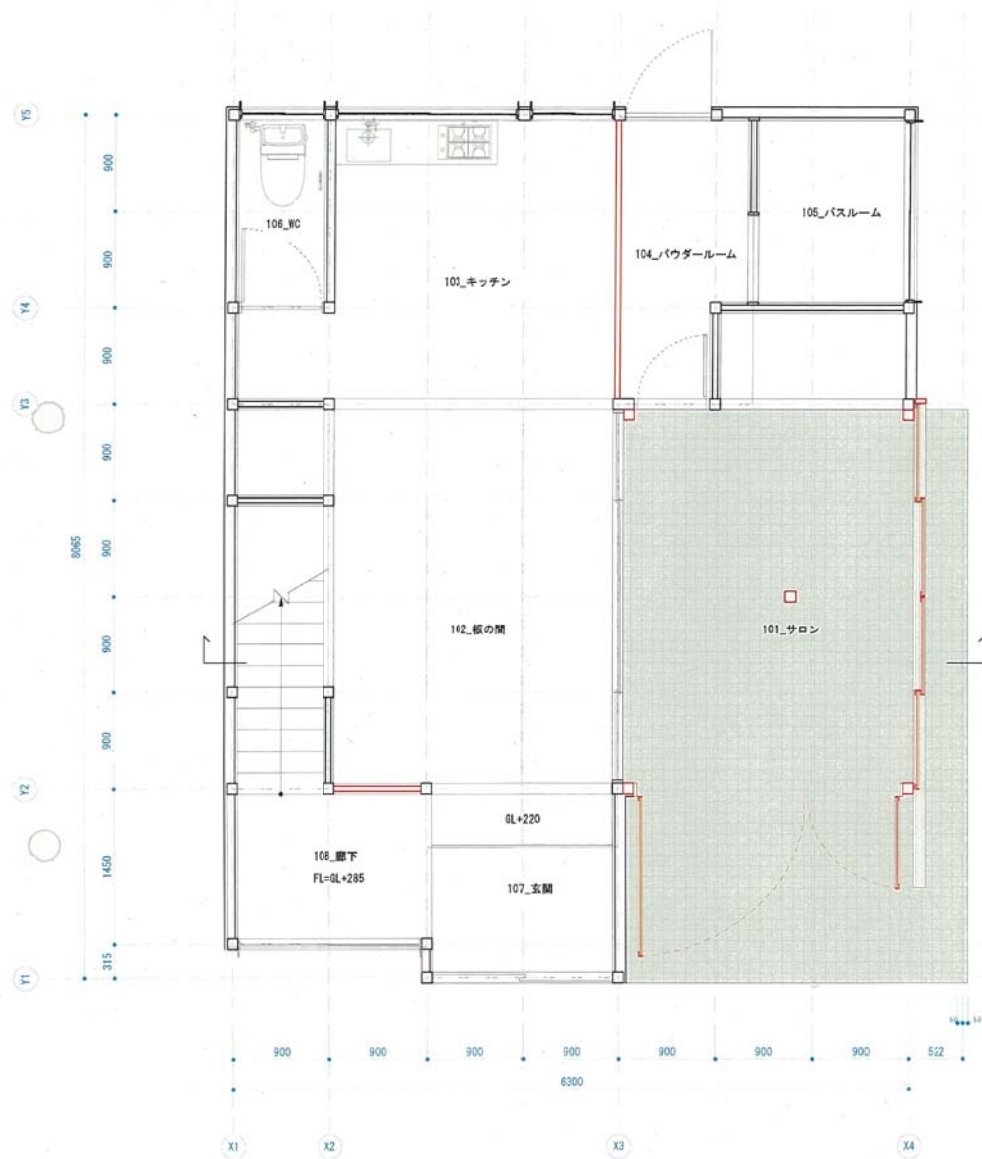


地域のお祭りの際にも開かれた場所として使用される



通りから気軽に入ることができる土間空間

2-4 その他図面

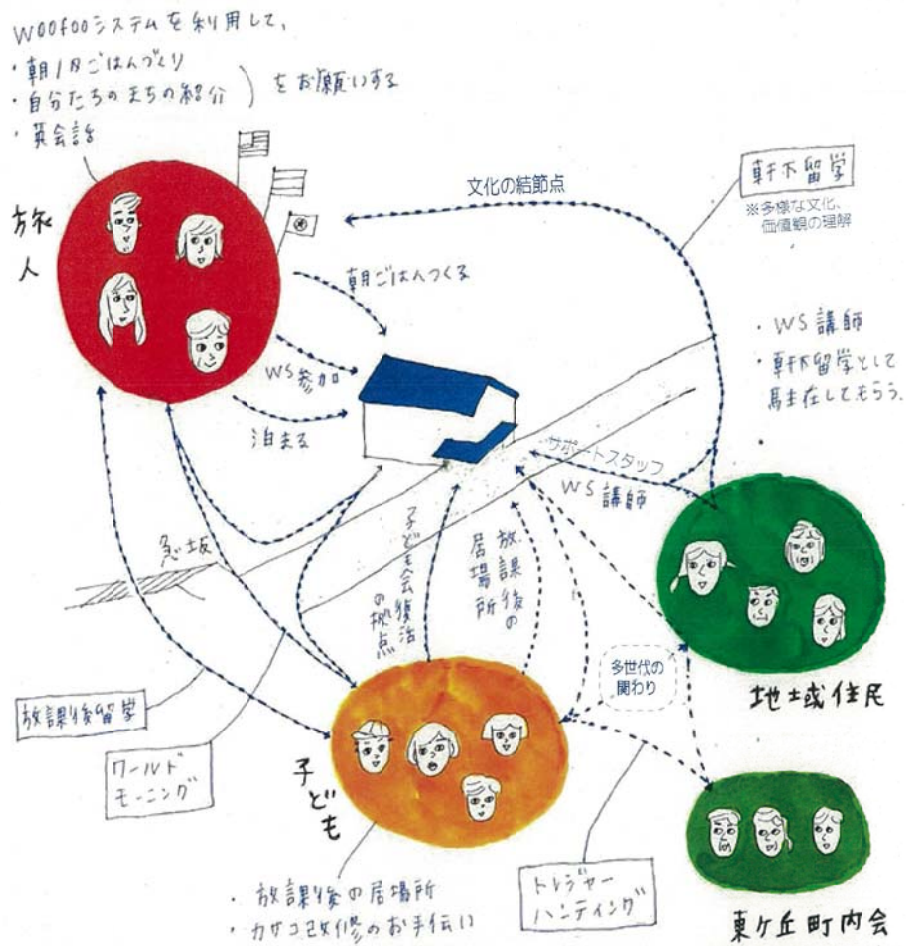


1階平面図 S=1/50

断面図 S=1/50

日付 14/12/01 作成	tomito architecture トミトアーキテクチャー		
特記事項 記載内容は検討部分を含みますので、 実際と異なる場合がございます。	名称 カサコ改修プロジェクト (仮)	設計番号	
承認欄	図面内容	縮尺 1/50	図面番号

カサコプロジェクトのイメージ図



運営計画 プログラム案追記

日	月	火	水	木	金	土	項目	単価	数量	内容	小計
	1	2	3	4	5	6	トレーナーハンティング(月二回)	500	20 (各10人)	参加費	10,000
							地域の情報を活用し、放課後留学等子供に特化したインフォメーション	12,000	一式	人件費、雑費	12,000
7	8	9	10	11	12	13	放課後留学(月額) 子ども(週一回)	2,000	10	参加費	20,000
							カサコに遊びに来るゲストと子どもが交流しながら、異文化を体験し、様々な活動を行う	15,000	一式	人件費、印刷費、教材準備費等	15,000
14	15	16	17	18	19	20	軒下留学 大人(週一回)	1,000	40 (各10人)	参加費	40,000
							カサコに遊びに来るゲストと大人が交流しながら、異文化を体験し、様々な活動を行う	30,000	一式	人件費、材料費、教材準備費等	30,000
21	22	23	24	25	26	27	ワールドモーニング	500	40 (各10人)	参加費	20,000
							世界の朝ごはんと、ゲストと子どもが交流しながら、異文化を体験し、様々な活動を行う	15,000	一式	人件費、材料費	15,000
28	29	30	31				光熱水費負担				15,000
							※色が塗られていない日についても、運営様々な人々を招き、イベントやワークを実施する予定です。				
合計											3,000 (円)

これまでに実施したプログラム/交流<一例>



<町内会対抗運動会15年ぶりの優勝に貢献>



<ゲストと東小学校放課後教室へ>



<カサコワークショップの様子>

<月刊東ヶ丘新聞>